



このコーナーではクルマに関する
為になる雑学をご紹介します。
意外と知らないことがあるかも!?

vol.46

年末年始の ドライブの注意点

家族で実家に帰省したり、初詣にでかけたりと、何かとでかける機会の多い年末年始。

年末年始のドライブは、高速道路だけではなく、国道・県道のような下道も交通量が増えます。さらに、冬ならではの道路状況により、普段以上に注意が必要です。安全で快適なドライブのために、以下の点に気をつけましょう!



1



ドライブ前に準備・確認をしましょう!

車両の徹底点検

バッテリーは寒さに弱く、特に冬場は消費電力が増えるため、トラブルが起こりやすいです。タイヤの空気圧や溝の確認も重要で、必要であればスタッドレスタイヤへの交換やタイヤチェーンの準備をしておきましょう。また、スタッドレスタイヤを装着していても、空気圧の減りや傷の有無に注意しましょう。

燃料の確認

長距離ドライブでは、高速道路の渋滞を考慮してガソリンを満タンにしておくのが安心です。またディーゼル車の場合、寒冷地へ行く際はその地域の気温に適した軽油が必要です。例えば、北海道の1月にはマイナス30度以下に対応する特3号、東北ではマイナス20度の3号、関東ではマイナス7.5度の2号軽油が推奨されています。

情報収集と計画

最新の天気予報や渋滞予測をチェックし、余裕を持ったスケジュールを立てましょう。特に、雪の予報が出ている場合は、計画の変更も検討しましょう。高所に位置する高速道路は天候の影響を受けやすいので、より注意が必要です。

2



運転中に心がけましょう!

こまめな休憩

2時間に1回、10分以上の休憩を目安に、疲労を感じる前に休みを取りましょう。休憩時には、軽いストレッチでエコノミークラス症候群対策も忘れずに。特に子供を連れている場合は、サービスエリアやパーキングエリアを効率的に利用し、こまめにトイレを済ませておくとうれしいでしょう。携帯用トイレの準備も有効です。



冬道の注意

路面凍結は気温が3度を下回ると起こりやすくなります。雪道では急な車線変更や急ブレーキを避け、車間距離を十分に取ることが大切です。地ふぶきで視界が悪くなることもあるため、リアルタイムの気象情報にも注意しましょう。もし雪道でスタックしてしまった場合は、ゆっくりと車を前後させてタイヤ周辺の雪を踏み固めるか、砂を撒くなどの方法を試してください。

事故やトラブルへの備え

万が一の事故に備え、発煙筒や三角表示板はすぐに使えるように準備しておきましょう。予期せぬトラブルに巻き込まれても落ち着いて行動できるよう、JAFや自動車保険のロードサービスの連絡先を確認しておくことも重要です。